

中施策評価書

作成日 令和05年 6月 19日

中施策事業名	防犯啓発事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	堅田直寛
①めざすまちの姿	03 まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない		
②大施策	明るく、地域の防犯活動が活発で犯罪が少ないまちをつくる		
③中施策	市民の防犯意識の向上を図る		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	防犯意識の向上が図られている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 防犯の啓発 ・ 功労者表彰 ・ 市防犯協会		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
防犯教室の実施回数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	23	23	23	23	23
	実績値	6	6			
単位	回					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)				124千円	147千円	
	a 事業費合計			124千円	147千円	333千円
	人 件 費	正 規 職 員	人 数	0 人	0 人	
			b 金 額	0千円	0千円	
		非 常 勤 一 般 職 員 等 (事業費に含む)	人 数	0 人	0 人	
			金 額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				124千円	147千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				2 円	2 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より遅れている	×	C

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価B 新型コロナウイルス感染症禍のため、防犯教室を実施することができないこともあったが、自転車泥棒防止の一環としてツーロックの啓発や、青パトを使用した防犯啓発活動を実施した。 また、公募のあった地区の中から、防犯モデル地区の指定を行い、地域における防犯事業への行政支援を実施した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	再整備後の駐輪場の管理者と連携した駐輪場内の盗難防止啓発活動を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	防犯啓発を促す一環として、老人クラブ、小中学校、保育園等を活用することで、家族等幅広い世代への啓発を進める。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 6月 19日

中施策事業名	自主防犯活動支援事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	堅田直寛
①めざすまちの姿	03 まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない		
②大施策	明るく、地域の防犯活動が活発で犯罪が少ないまちをつくる		
③中施策	地域の自発的な防犯活動を推進する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	積極的に防犯活動を行っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 防犯ボランティア ・ 防犯モデル地区 ・ 安全ステーション		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
自主防犯ボランティア団体数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	71	71	71	71	71
	実績値	70	69			
単位	団体					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)				3,171千円	3,071千円	
	a 事業費合計			3,171千円	3,071千円	3,307千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				3,171千円	3,071千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				46 円	45 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価B 地区の青パト講習会等にて、ながら見守り等新しい防犯スタイルについて、継続してPRすることや、実際に導入に向けて、団体からの要望に応えられるようアンケートを実施した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	ながら見守りの推奨や働きかけを継続的に実施し、防犯活動に参加しやすい環境を整えていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き、ながら見守りの推奨をさらに働きかけ、防犯団体への参加のハードルを下げることで、より防犯活動に参加していただけるように働きかけていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名 地域安全ステーション さかえ	内容、理由、時期等 新栄交番の廃止に伴い、地元の要望で地域安全ステーションを設置したが、近年利用者が減少し、地元に関心のある方向性を確認したところ、継続の要望がなかったため、令和5年度中に廃止する。

中施策評価書

作成日 令和05年 8月 10日

中施策事業名	防犯対策事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	堅田直寛
①めざすまちの姿	03 まちが明るく、地域の防犯活動が活発で、犯罪が少ない		
②大施策	明るく、地域の防犯活動が活発で犯罪が少ないまちをつくる		
③中施策	明るく死角が少ない街をつくる		
④中施策事業の対象	・ 市民 ・ 市内で遊ぶ子ども		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民が安心して生活でき、子どもが外で安全に遊んでいる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 防犯設備の設置補助 ・ 地域安全監視員 ・ 愛知地区防犯協会連合会		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
防犯灯のLED化補助台数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	300	300	300	100	100
	実績値	53	77			
単位	台					
防犯カメラ設置台数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	10	10	10	10	10
	実績値	4	12			
単位	台					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)				6, 233千円	14, 582千円	
	a 事業費合計			6, 233千円	14, 582千円	8, 902千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				6, 233千円	14, 582千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				91 円	212 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標の内容を見直す必要がある	△	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価 B 防犯灯の市全体のLED化率は9割を超え、蛍光灯からLED等への更新はおおむね終了したが、劣化等により修理が必要な防犯灯もあり、実績値が増加したと思われる。住宅環境の変化等により防犯灯の新設を行う地区もあることから、今後も継続していく必要がある。 防犯カメラについては、直営設置分のコストは、前後駅周辺を中心とした人の行き来の多い箇所への新規設置や、設置台数増加に伴う維持管理費増加により増加しているが、犯罪抑止に関する費用対効果が高く今後も必要である。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	犯罪のないまちづくりを目指し、新設される県補助を踏まえ、通学時に使用される区域や必要な個所への設置を促し、犯罪の抑制に努める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	再整備駐輪場の管理者と連携した駐輪場内の盗難防止啓発活動を行う。 再整備事業に伴い市内3駅周辺に設置した防犯カメラについて、維持管理を適切に行うことで地域の治安維持に努める。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 6月 18日

中施策事業名	交通安全推進事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	堅田 直寛

①めざすまちの姿	07 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる
②大施策	利用者が安心して通行できる道路環境をつくる
③中施策	交通ルールの理解と遵守を促進する
④中施策事業の対象	市内在住・在勤・在学者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	交通ルールの遵守
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・交通安全運動 ・交通安全の啓発 ・交通安全施設・規制等の要望

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
交通安全教室の開 催回数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	33	33	33	33	33
	実績値	23	19			
単位	回					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)				10,080千円	12,338千円	
	a 事業費合計			10,080千円	12,338千円	13,275千円
	人 件 費	正 規 職 員	人 数	0 人	0 人	
			b 金 額	0千円	0千円	
		非 常 勤 一 般 職 員 等 (事業費に含む)	人 数	0 人	0 人	
			金 額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				10,080千円	12,338千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				146 円	179 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価 B 交通事故発生件数は減少したものの、新型コロナウイルス感染症禍のため、交通安全教室の開催が困難である状態が続き、目標に達することができず、実施回数も減少している中で、まちづくり指標の「安全に通行するための適切な交通規制や対策があると思う市民の割合」が減少している傾向にある。 歩道の安全を確保するために拡大した放置自転車禁止区域の設定により、放置自転車の減少を確認することができた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	自転車運転の安全な乗り方の広報や、ヘルメットの着用の全年齢化への推進、また、大型トラックの死角体験等を進めることで、交通安全の全体的な啓発を図っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	特に高齢者が自転車での外出時にヘルメットを着用するよう、老人クラブ等を通じて働きかけを行う。また、子供を通じて家族へのヘルメット着用を促す一環として、小中学校、保育園への働きかけを行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 6月 18日

中施策事業名	自転車対策事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	堅田直寛
①めざすまちの姿	07 道路環境がよく、歩行者も自転車も自動車も安全に通行することができる		
②大施策	利用者が安心して通行できる道路環境をつくる		
③中施策	利用者が安全で安心して通行できるように道路を整備・管理する		
④中施策事業の対象	市内を自転車利用する人		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	自転車を放置していない		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・駐輪場の管理・運営 ・自転車駐輪対策 ・放置自転車		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
撤去台数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	450	450	450	450	450
	実績値	378	435			
単位	台					
駐輪場の不足台数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	190	190	0	0	0
	実績値	190	0			
単位	台					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費 (a+b)				16, 495千円	103, 723千円	
	a 事業費合計			16, 495千円	103, 723千円	4, 760千円
	人 件 費	正 規 職 員	人 数	0 人	0 人	
			b 金 額	0千円	0千円	
		非 常 勤 一 般 職 員 等 (事業費に含む)	人 数	0 人	0 人	
			金 額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				16, 495千円	103, 723千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				240 円	1, 507 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価B 公益財団法人自転車駐車場整備センターと市営駐輪場の再整備のための協定を締結し、令和4年10月に駐輪場を開設したことにより、駐輪場不足は解消した。 開設に伴う一斉撤去の影響で撤去台数は増加したが、その後は大幅な減少が達成できたため、今後も減少していくことが想定される。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	再整備後の駐輪場の本格的な運用が開始されるため、放置自転車撤去の仕組みづくりや、放置自転車の利活用、放置自転車禁止区域の範囲などについて、継続して公益財団法人自転車駐車場センターとともに協議及び検討、必要に応じた見直しを実施する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	駐輪場再整備前後の事業評価、検証を実施する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 7月 25日

中施策事業名	災害対策事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	堅田 直寛
①めざすまちの姿	18 災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている		
②大施策	災害時に行政と民間、地域、近隣市町村と連携する		
③中施策	普段から各機関との連絡調整がとれる体制をつくる		
④中施策事業の対象	近隣自治体、遠方自治体、民間企業		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	平時から情報交換等により顔の見える関係を構築し、災害時に迅速な対応ができる関係となっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・災害対策本部、非常配備 ・避難所 ・防災行政無線等機器 ・防災資機材 ・地域 防災計画 ・防災会議、地域防災対策推進会議 ・国庫、県費の補助金（防災関係） ・国民保護計画 ・災害時要援護者支援、ボランティアセンター ・防災協定		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
締結した災害協定 数（年間）	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	3	3	3	3	3
	実績値	2	1			
単位	数					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)				24,681千円	97,512千円	
	a 事業費合計			24,681千円	97,512千円	28,717千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				24,681千円	97,512千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				359 円	1,417 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価B 本市の災害協定の締結状況については、一定程度充足してきている。 様々な企業、団体との防災協定の締結は、いざという時に大きな力となる。協定締結先との協力体制は、本市・市民の安全・安心につながるものと思われる。 コストについては、前年度と比較して、耐用年数が経過した移動系防災行政無線の整備を行ったため、増加した。同法無線施設を使用した災害訓練については、継続して行うことで住民への啓発や防災意識の高揚を図っていく必要がある。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	災害協定については、継続して新たなパートナーを探し、協力関係が築けるよう活動が続けていく。また、有事の際の協定であるため、協定締結先との連絡先の確認を継続していく。その上で、協定に基づいた訓練を実施し、協力関係を強めていく。 前年の避難所運営訓練で洗い出された課題であるLED投光器及び簡易に使える発電機の導入を進めていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	現在協定を締結している企業、団体との情報伝達訓練等の訓練を実施していく。 同法無線施設や移動系防災行政無線を使用した防災訓練を実施し、地域住民への啓発や防災意識の高揚を図っていく。その上で、洗い出された課題について検証し、次回の訓練に活かしていく。 職員参集システムの更新、災害対策本部用豊明市広域図の更新を行い、各機関との連絡調整がとれる体制を作っていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名 住民向け情報配信サービス整備事業	内容、理由、時期等 市民向け一斉情報配信システムを導入する。現状のメール配信システムの配信終了に伴い、バージョンアップを行う。
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) 被災者支援システム構築事業	内容、理由、時期等 被災者支援システムを導入し、被災者支援に係る業務の迅速化・効率化を図る必要がある。
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 8月 10日

中施策事業名	消防水利設置・維持管理事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	堅田 直寛

①めざすまちの姿	18 災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている
②大施策	災害時に行政と民間、地域、近隣市町村と連携する
③中施策	普段から各機関との連絡調整がとれる体制をつくる
④中施策事業の対象	市内の市街地及びこれに類する地域
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	耐震性を有する防火水槽が整備されている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・立上り消火栓に関すること ・防火水槽の設置及び改修に関すること ・国庫補助金及び県費補助金に関すること

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
耐震性防火水槽整備数	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	78	78	80	80	80
	実績値	78	79			
単位	基					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費 (a+b)				13, 039千円	8, 644千円	
	a 事業費合計			13, 039千円	8, 644千円	7, 319千円
	人 件 費	正 規 職 員	人 数	0 人	0 人	
			b 金 額	0千円	0千円	
		非 常 勤 一 般 職 員 等 (事業費に含む)	人 数	0 人	0 人	
			金 額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				13, 039千円	8, 644千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				189 円	126 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価A 消防団車両の更新が完了した。 地下式消火栓については、新たに1基設置した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	耐震性貯水曹を計画的に設置するため、令和5年度に1基設置する。 消防水利の充足率については、高まりつつあるため、今後は開発地区への消防水利について、他課との協議を進めていく必要がある。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	防火水槽については、古くて改修が必要な防火水槽や民地にある防火水槽の調査、整理を実施し、改修、撤去の計画策定が必要である。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 6月 22日

中施策事業名	消防団運営事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	堅田 直寛

①めざすまちの姿	18 災害時に行政と民間、地域、近隣市町村との連携がとれている
②大施策	災害時に行政と民間、地域、近隣市町村と連携する
③中施策	普段から各機関との連絡調整がとれる体制をつくる
④中施策事業の対象	消防団員・区、町内会・関係団体
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	地域の中心となり、地域住民と相互に連携協力し、活動を行っている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・消防団員の退職報償金に関すること ・消防団員等の公務災害補償に関すること ・消防団式典に関すること ・消防団の各種行事に関すること ・消防団に対する警備依頼に関すること ・消防団交付金に関すること ・消防団の組織運営に関すること

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
消防団活動回数(年間)	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	820	820	820	820	820
	実績値	334	710			
単位	回					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)				54,391千円	79,040千円	
	a 事業費合計			54,391千円	79,040千円	37,609千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				54,391千円	79,040千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				790 円	1,149 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価B 令和2年度から令和4年度にかけて消防団車両を計7台更新した。 令和3年度に比べ、新型コロナウイルス感染症の影響を受けず、消防団活動を実施することができたため、コスト増となった。 令和5年度以降はこれまでの行事等が復活していくため、行事の規模や実施方法を見直し、コスト削減に繋げる。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	新型コロナウイルス感染症の影響で、実施できなかった消防団行事を復活させながらも、この機会に行事の実施方法を見直し、コスト削減に繋がるような活動方法を検討していく。また、操法訓練のあり方についても消防団と協議を進めていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	災害に対応できる訓練を消防署と連携し実施していく。また、祭り警備や、地区の防災訓練等に積極的に参加し、地域との繋がりを深めていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 6月 22日

中施策事業名	女性防火クラブ事務	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	堅田 直寛
①めざすまちの姿	19 防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できており、災害時には助け合うことができる		
②大施策	災害に備え、家庭と地域の準備と連携ができ、災害時には自発的に助け合えるよう支援する		
③中施策	災害に備えて家庭での準備を促す		
④中施策事業の対象	女性防火クラブ員		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	クラブ活動を通じ、家庭や地域からの火災を予防する		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 女性防火クラブの指導育成に関すること ・ 女性防火クラブ交付金事務に関すること ・ 女性防火クラブ半日体験に関すること ・ 女性防火クラブ研修に関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
女性防火クラブ行事参加人数(年間)	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	300	300	300	300	300
	実績値	48	170			
単位	人					
	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0			
単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)				1,084千円	973千円	
	a 事業費合計			1,084千円	973千円	1,040千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等（収入）				0千円
③ コスト（①－②）				1,084千円	973千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				16 円	14 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価 B 令和4年度は、女性防火クラブ40周年記念大会をはじめ、他の研修等の行事も比較的順調に実施できた。しかし、クラブ員、支部数の減少は進んでいる状況のため事業内容、活動方法の見直しが必要である。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	家庭からの防火にとどまらず、地域の防災活動にも参加していけるよう、活動内容を役員と協議する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	組織の再編を含め事業内容を検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和05年 6月 22日

中施策事業名	防災啓発事業	部課名	市民生活部・防災防犯対策課
		作成者	堅田 直寛
①めざすまちの姿	19 防災を行政任せにせず、普段から家庭と地域の準備と連携が十分できており、災害時には助け合うことができる		
②大施策	災害に備え、家庭と地域の準備と連携ができ、災害時には自発的に助け合えるよう支援する		
③中施策	災害に備え家庭と地域の連携を促し、災害時の助け合いの意識を向上させる		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	災害時に地域を通してスムーズな連絡調整を行うことができ、消火活動や救出活動を迅速に行うことができる状態である		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 防災訓練 ・ 防災啓発 ・ 自主防災組織連合会 ・ 安心安全情報共有システム ・ 地区で開催される防災訓練 ・ 講話		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況						
地域で実施した防災訓練の数（年間）	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	46	46	46	46	46
	実績値	27	32			
単位	数					
家庭で防災対策をしている市民の割合（備蓄、避難所の確認など）※	事業実施年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	69.7	71.6	73.5	75.4	77.4
	実績値	59.5	62.6			
単位	%					

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和03年度	令和04年度	令和05年度
① 総事業費(a+b)				6,331千円	6,380千円	
	a 事業費合計			6,331千円	6,380千円	8,178千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等（収入）				0千円
③ コスト（①－②）				6,331千円	6,380千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				92 円	93 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価B (指標1) 令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響から回復しつつはあったが、完全には回復していないため、各地区での訓練、講話が思うように実施できなかった。今年度以降、以前のような訓練や講話が実施されてくるものと思われる。 (指標2) 過程で防災対策をしている市民の割合は増加したが、目標値は達成できていないため、広報や防災訓練を通じて、引き続き啓発を行う必要がある。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	防災リーダー研修会などで、訓練の必要性等呼びかけ、各自主防災組織での訓練実施を呼びかけていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	大きな地震の発災からまた少し時間が経過してきており、防災意識の希薄化がしているように思われる。講話等で、周知を図りたい。 また、訓練等の実施内容も提示しつつ、訓練内容の充実も図っていただくようアナウンスしていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等